

報道各社 御中

令和2年6月22日
大阪体育大学広報室

対面授業とクラブ活動を段階的に開始

「ともにスポーツの未来を創ろう」を合言葉に！

大阪体育大学（大阪府泉南郡熊取町朝代台1-1、岩上安孝学長）は、6月1日（月）から一定の条件下で一部の学生の学内入構を認め、対面授業再開に向けたシミュレーションを行ってきました。そして、19日（金）から対面授業とクラブ活動を段階的に開始しました。

19日から開始した対面授業は、1年次・4年次の配当科目の履修生（1、4年生の他、対象の科目を受講する2、3年生も含む）が対象です。1週間後の26日（金）から2年次配当科目の履修生を対象に加え、2週後の7月3日（金）から3年次配当科目の履修生を対面授業の対象に加えます。学内に入構する学生数を段階的に増やしながら、学内環境と授業そしてスポーツ活動の感染防止策の確認と徹底に努めます。一方、日常生活を含めて感染に対する不安が大きい学生もいることから、希望する学生には引き続き遠隔で授業を受講できるように配慮します。

本学は3月13日（金）から学生の入構自粛とクラブ活動の禁止措置を取り、4月20日（月）から遠隔授業を実施してきました。体育大学として、他大学に較べて実技科目が多い特性があることを踏まえ、新型コロナウイルス対策本部（岩上安孝本部長）が感染防止策を徹底したうえでの対面授業の再開を決めました。

感染防止対策として体温が37.5度を超える学生の入構禁止、授業でのマスクやマスクに代わるものの着用の義務付け、換気と手指消毒の徹底、臨時手洗い場約20か所の増設、食堂テーブルなどのパーティション設置などを実施しています。

また、学生と教職員が一体になった啓発活動として「学友会&教職員協同プロジェクト」を展開し、アンケート調査、オンライン意見交換会、キャッチコピー公募によるポスター掲示、学友会と部活動・同好会による3密防止を呼び掛ける活動を展開しています。

クラブ活動も19日（金）から指導者や学生同士からの強制でない自主的な参加に限り、部員間の2mの距離の確保、接触・対面的な活動の禁止、練習計画の提出義務付けなど細心の注意を払い、段階的に再開しました。

各クラブは、6月1日（月）以降、クラブ活動ではなくスポーツ活動の位置づけで、実技授業の安全な実施対策の確認、学生アスリートのコンディション回復、学生アスリートが感染防止のリーダー的存在になってもらうことなどを目的に、人数、時間、内容などを制限して軽微で個人トレーニングが主体の活動を実施し、週ごとに内容を検証し、修正してきました。今後も状況を見ながら段階的に練習内容を更新していく予定です。

※本学の新型コロナウイルス対策はHP（<https://www.ouhs.jp/news/category/cat13/>）をご参照ください。
※クラブ活動再開の詳細はHP（<https://www.ouhs.jp/news/2020-06-19-12890/>）をご参照ください。

<本件に関するお問い合わせ>

【大阪体育大学広報室】

大阪府泉南郡熊取町朝代台1-1 TEL 072-453-7021 FAX 072-453-8818
担当・大坪 otsubo-y@ouhs.ac.jp